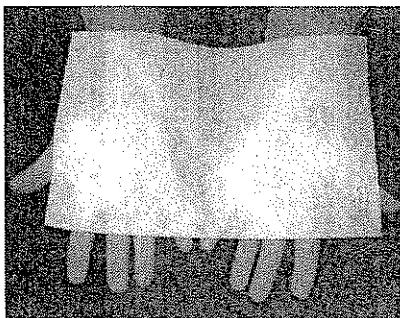




重金属を吸着する不織布

キトサンコーワが開発

有害物質 95%除去 排水処理に利用



キトサンコーワの新製品「キトサンコートアルギン酸繊維不織布」

▲……………
キトサンコーワの
新製品「キトサン
コートアルギン酸
繊維不織布」

同製品は食物繊維の一種であるアルギン酸にキトサンをコーティングして不織布にした。同社の実証実験によると、キトサン繊維の含有比率はPP繊維に対して5%の割合で十分な吸着効果が得られる

【立川】キトサンコーワ(東京都八王子市、国安春子社長、042・626・9289)は、重金属などの環境汚染物質を吸着する不織布「キトサンコートアルギン酸繊維不織布」を開発、10月中旬に発売する。カニやエビの殻から取れるキトサンの吸着作用を利用し、産業排水などに含まれる有害化学物質や重金属の95%以上を吸着・除去することに成功した。価格はキトサン繊維5%含有の標準タイプのシートで、1平方メートルあたり2500円から。工業や農業の排水処理向けに年間売り上げ1億5000万円を目指す。

という。また、重金属の吸着実験ではカドミウム、ニッケル、コバルトなどは100%吸着、マンガンは95%以上吸着するという結果が出た。通常、工業排水処理に

は電気分解、活性炭、化学処理などが用いられており、処理施設の建設費や維持費など企業には大きな負担となっている。開発した不織布は排水処理の最終行程として、排

水口に設置するだけで重金属の除去ができるほか、繊維に付着した重金属を化学処理で取り除けば再利用が可能。排水処理のコスト削減手段として期待が持たれる。